

## 会議ダイジェスト

## 企画委員会

## ・第 7 回学生見学会第 3 回実行分科会

開催日: 2 月 20 日

出席者: 岡田主査ほか, 17 名.

1. 第 7 回学生見学会応募状況報告
2. 今後のスケジュール
3. 各会場への交通費振込金
4. 学生に対するアンケートについて
5. Fe 21 の配布について

## 編集委員会

## ・第 11 回和文会誌分科会

開催日: 2 月 7 日

出席者: 木原主査ほか, 11 名.

1. 17 件の論文審査報告がなされ, 掲載決定 13 件, 照会后掲載可 4 件であった.
2. 「鉄と鋼」第 78 年第 5 号 (5 月号) に論文 17 件掲載決定した. 現場技術報告 5 件を 4 月号に掲載決定した.
3. 解説等 7 件の執筆依頼を決定した.
4. 「鉄と鋼」の紙質について検討中である.

## 育成委員会

## ・第 2 回育成委員会

開催日: 1 月 28 日

出席者: 牛山委員長ほか, 8 名.

1. 鉄鋼工学セミナーに受講者を派遣している各社を対象に実施した Advanced Course 設置に関するアンケート集計結果について報告があり, 今後の方向を含め企画小委員会に検討を委ねることとなった.
2. 企画小委員会報告を審議の上, 以下のとおり決定した.
  - 1) 「高校理科教育担当教諭との技術教育協議会」を今夏, 東北支部にて試験的に実施する.
  - 2) 鉄鋼科学技術に関する新しいスタイルの学術論文叢書を出版する. また, 鉄鋼協会に蓄積されている知的財を継続して活用するために, 育成委員会内に知的財小委員会を設置する.
  - 3) 「外国人博士研究員奨学制度」設置の可能性を検討するため, 材料系, 機械系の国公立研究所及び国公立の大学の先

生にアンケート形式で意見を伺う.

## ・第 5 回企画小委員会

開催日: 1 月 22 日

出席者: 荒牧小委員長ほか, 5 名.

1. 第 2 回育成委員会に諮るべく, 以下の企画課題について内容を詰めた.
  - 1) 高校理科教育担当教諭との技術教育協議会
  - 2) 知的財の活用による出版活動
  - 3) 外国人博士研究員奨学制度
  - 4) 大学と鉄鋼業の新共同研究開発制度の設立

## ・第 3 回技術講座小委員会

開催日: 2 月 7 日

出席者: 徳永小委員長ほか, 14 名.

1. 西山記念技術講座のテーマが以下のように決定した.
  - (1) 第 146・147 回「製鉄技術の最近の進歩と将来」(平成 5 年 2 月)
  - (2) 第 148 回「磨耗・摩擦・潤滑(仮称)」(平成 5 年 5 月)
  - (3) 第 149・150 回「鉄鋼業における計測制御技術」(平成 5 年 11 月)
  - (4) 第 151・152 回「ステンレス鋼製造と利用に関する最近の進歩と将来」(平成 6 年 2 月)
2. 白石記念講座のテーマが以下のように決定した.
  - (1) 第 24 回「地球環境・エネルギー問題の現状と将来」(平成 5 年 6 月)
  - (2) 第 25 回「大深度地下利用技術の現状と将来」(平成 5 年 11 月)

## 共同研究会

## ・第 13 回亜鉛めつき鋼板部会

開催日: 2 月 6, 7 日

開催地: 淀鋼/市川, 大洋/船橋

出席者: 鍋丁部会長ほか, 131 名.

1. 操業状況 (平成 3 年 4 月~9 月)
2. 共通議題「連続式溶融亜鉛めつき設備仕様」
3. 自由議題発表 12 件
4. 工場見学 めつき工場(淀鋼 4 CGL, 大洋製鋼 2 CGL)

## ・第 95 回圧延理論部会

開催日: 2 月 6, 7 日

開催地: 川鉄/千葉

出席者: 林部会長ほか, 232 名.

1. 研究論文発表  
メインテーマ「板圧延およびプロセスラ

イン」中心の研究発表 18 件

2. 特別講演  
「ぶりき原板用 CALにおける技術革新」(川鉄・千葉)
3. 工場見学  
川崎製鉄(株)千葉製鉄所 第 2 熱延工場, 第 1 冷延工場

## ・運輸部会 第 1 回平成 4 年調査小委員会

開催日: 1 月 22 日

出席者: 早川部会長, 檀野小委員長ほか, 23 名.

(1)平成 4 年調査小委員会の取組みについて

- ①小委員会の構成
- ②調査活動の概要
- ③小委員会スケジュール, 他

## 特定基礎研究会

## ・第 9 回材料電磁プロセッシング部会

開催日: 2 月 3 日

出席者: 浅井部会長ほか, 25 名.

1. 本部会関連の協会事業の近況報告
2. 研究発表
  - (1)電磁場作用下での液体金属の界面挙動
  - (2)コールドクルーシブルの浮揚力に及ぼす電源周波数重畳の影響
  - (3)高周波交流磁場中に置かれた液体金属の自由表面形状の数値計算
  - (4)コールドクルーシブルによる Ti 系合金の溶解 casting
  - (5)鋼の凝固組織およびマクロ偏析生成に及ぼす静磁場印加の影響
  - (6)液体窒素中における放電現象と金属窒化物の合成

## ・第 7 回充填層中の気・固・液移動現象部会

開催日: 1 月 30, 31 日

開催地: 幕張研修センター

出席者: 八木部会長ほか, 23 名.

1. 第 7 回幹事会報告 (11 月 12 日)
2. 特基研運営委員会報告 (12 月 3 日)
3. 各 WG における研究のまとめ報告
4. 四流体モデルの構築について
5. 最終報告会について
6. その他

## ・第 3 回コークス製造のための乾留制御部会

開催日：2月4, 5日

開催地：川鉄/千葉研修所

出席者：持田部会長ほか、49名。

1. 研究進捗報告(8件)および討議
2. 今後の進め方に関する討議
3. その他

### ・第3回鉄鋼の初期凝固研究会

開催日：2月14日

出席者：梅田部会長ほか、28名。

- (1)研究発表 6件(阪大, 日本冶金, 新日鉄, 神鋼, NKK, 住金)
- (2)幹事会決定事項報告

## 基礎研究会

### ・第9回熱プラズマ研究会

開催日：2月10日

出席者：牛尾部会長ほか、21名。

#### 1. 研究発表

- (1)粒子内部循環型マイクロ波プラズマ流動層の試作 —マイクロコンテナ粒子流動化法によるダイヤモンド粉の気相合成—
  - (2)ECR プラズマ CVD
  - (3)鉄およびチタン溶解時におけるアルゴンアークプラズマ中温度分布と金属蒸気分布の比較
  - (4)水素プラズマ溶解の精製効果(2) —高融点金属からの脱金属不純物—
  - (5)酸化性プラズマアークの陰極現象
2. 部会報告書作成のスケジュールについて

### ・第8回極低炭素鋼板研究会

開催日：1月27日

出席者：佐久間部会長ほか、28名。

#### 1. 研究発表

- (1)極低炭素 Ti 添加冷延鋼板の深絞り性に及ぼす Mn の影響
- (2)IF 鋼の熱処理過程での硫化物の析出挙動に及ぼす Ti, Mn 量の影響
- (3)Ti 添加極低炭素冷延鋼板の集合組織形成に対する B の影響
- (4)Al キルド冷延鋼板の再結晶集合組織に及ぼす C 量, Mn 量及び焼鈍加熱速度の影響

#### 2. 部会報告書の作成について

### ・第9回組織制御と性質研究会

開催日：1月31日

出席者：小指部会長ほか、13名。

#### 1. 研究報告

「直送圧延による粗大凝固組織の再結晶

挙動」 (新日鉄)

「厚鋼板の混合組織と引張特性」(NKK)

「肌焼鋼の疲労強度に及ぼす介在物の影響」(NKK)

2. データ集の検討(組織と機械的性質, 疲労強度)
3. 今後のスケジュール検討

### ・第3回ミクロ組織センサー研究会

開催日：1月23日

出席者：岸部会長ほか、14名。

1. 共通サンプル WG の報告/討議
2. 話題提供
  - (1)鉄鋼業における組織計測に関する事例(その3:神鋼)
  - (2)同上(その4:新日鉄)
  - (3)2次元結晶粒構造の解析(川鉄)

## 基礎共同研究会

### ・第9回変形特性の予測と制御部会

開催日：2月3, 4日

出席者：吉永部会長ほか、18名。

1. 研究会：5件の研究中間報告と討議
2. 話題提供
  - (1)Al-Li2元合金の強度と時効組織(九大)
  - (2)熱間塑性加工における流動応力予測法(東工大)

### ・第3回循環性元素分離部会

開催日：1月28日

出席者：佐野部会長ほか、19名。

#### 1. 研究発表

- (1)鋼中トランプエレメントの除去に関する熱力学
  - (2)金属化合物の蒸発によるトランプエレメントの除去に関する熱力学的考察
  - (3)Sn 除去に関する2~3の研究結果
  - (4)製鋼ダストからの亜鉛とすずの除去分離についての検討
  - (5)ハロゲンあるいはハロゲン化物を用いる製鋼プロセスの可能性
  - (6)真空精錬および塩化精錬による溶鉄中不純物の除去
2. 各ワーキンググループの活動方針説明とメンバー決定

### ・第3回国際鉄鋼技術委員会

開催日：1月30日

出席者：富浦委員長ほか、12名。

#### 1. 報告事項

(1)総会(IISI-25)運営委員会会議

(2)TECHCO 運営委員会議

#### 2. 討議事項

- (1)パネル討議における「21世紀に向けた技術開発課題」の調査内容とその方法
- (2)CO<sub>2</sub> タスクフォースの日本技術委員会メンバー人選
- (3)スペシャルスタディーの日本技術委員会メンバー人選
- (4)テクニカルエクステンジセッションでの講演内容および講演者人選

## 標準化委員会

### ・標準化委員会

開催日：1月9日

出席者：荒木委員長ほか、16名。

1. 標準化事業体制強化について：現在の標準室, ISO 事務局を統合し鉄鋼標準化センター(仮称)を設置するという事務局案が承認された。
2. 「鉄鋼関係の JIS/ISO 整合化作業指針」が承認された。
3. 「鉄鋼業における外注管理システムのあり方」についてが承認され, 同作業を担当した「外注化条件検討 WG」は解散することもあわせて承認された。
4. 「日ソ油井用鋼管分科会」を一時解散することを承認した。
5. 以下の標準化委員会に関する事項につき事務局より報告があった。
  - (1)日本鉄鋼協会 H3 事業報告及び H4 事業計画
  - (2)工業標準化推進部門別長期計画
  - (3)JIS と国際規格の整合性調査の手引
  - (4)京都 ISO/TC 17(鋼)総会, 同 SC 12(薄板製品), 同 SC 20(鋼の出荷条件)各分科会会議報告。
  - (5)ISO 活動トピックスとして「ISO 中の日本の地位」等5件。

### ・第159回鋼管分科会

開催日：2月5日

開催地：住金/白山寮

出席者：濱田主査ほか、13名。

1. JIS・G 3444 (STK) の標準寸法追加検討
2. JIS・G 3459 (SUS-TP) 溶接管の肉厚慣用寸法記載討議
3. ステンレス鋼管規格への鋼種(SUS 317 J 5 L 等)追加検討
4. JIS と ISO の鋼管規格検討報告

・第 117 回普通鋼分科会

開催日：1 月 24 日

出席者：古山主査ほか、12 名。

1. JIS/ISO の整合化検討  
(JIS G 3106, 3115, 3193, 3303)
2. 鉄骨品質問題に係わる規格改正について (JIS G 0901, Z 方向特性, 建築用鋼材)

日本圧力容器研究会議

・第 68 回 JPVRC 圧力容器用鋼材  
専門委員会

開催日：2 月 18 日

出席者：平委員長ほか、8 名。

1. JPVRC 運営委員会報告
2. 新規テーマアンケート調査結果
3. TMCP 型 Cr-Mo 鋼板の報告

4. TMCP による HT 60~100 の研究開発状況報告

5. 文献調査のフォーマット等について

・水素脆化専門委員会

開催日：1 月 24 日

1. 第 25 回水素脆化専門委員会 TG 6  
(出席者：武田委員長ほか 12 名.)  
1) 共同研究「C- $\frac{1}{2}$  Mo 鋼の水素侵食材の材料評価」進捗状況報告  
2) 共同研究追加試験の検討  
3) 共同研究試験結果まとめフォーマット案について  
4) 話題提供予定について
2. 第 8 回水素脆化専門委員会 TG 7  
(出席者：飯田主査ほか 11 名.)  
1) 文献抄録個別検討  
2) 活動情報「湿潤硫化水素環境における鉄鋼材料の割れ感受性評価」紹介

・第 5 回新環境統合都市研究委員会

開催日：1 月 21 日

出席者：三宅委員長ほか、11 名。

1. 報告書の構成案に基づく、各担当分野の原稿案および原稿内容の発表と討議
2. パイロットシティ (先行的実験都市) の創造に関する討議

・第 6 回新環境統合都市研究委員会

開催日：2 月 18 日

出席者：三宅委員長ほか、10 名。

1. 報告書原案に関する討議  
(1)パイロットシティのイメージ  
(2)モデル都市のエネルギー需要と供給  
(3)エネルギー削減の試算  
(4)CO<sub>2</sub>削減量の試算
2. 今後の進め方

「戦後復興期における日本鉄鋼技術の発展」

(昭和 20 年より 30 年代初頭まで)

発刊に際して画像情報資料 (写真, その他)  
提供お願いについて

本会、戦後技術史調査小委員会では、現在「戦後復興期における日本鉄鋼技術の発展」と題する報告を近々発刊を目標に第 1 次原稿を作成致しました。スケルトンは、下記に記すとおりであります。現在、特に第 1 次合理化計画で建設された設備関係の写真や各種調査団の記念写真等探索中ではありますが中々入手困難で困っております。そこで会員の方々の中で上記の画像情報資料をお持ちで提供いただける方は、下記宛ご連絡いただきたくよろしくお願い致します。なお、本報告書は、本文 200 頁、資料 100 頁にわたる膨大なもので、本年 9 月頃刊行を目標に鋭意編集作業を進めております。鉄鋼技術史の空白を埋める貴重な文献となるものなので、是非ご期待下さい。8 月頃には予約を受け付ける予定です。

なお、戦中の鉄鋼技術については昨年 3 月に「戦前軍用特殊技術の導入と開発」を出版しておりますので御関心の方は御購入をお願い致します。

記

戦後復興期における日本鉄鋼技術の発展

(昭和 20 年より昭和 30 年代初頭まで)

- |                     |                                  |
|---------------------|----------------------------------|
| 第一部 日本鉄鋼業の戦後復興の端緒   | 第三部 近代化への門出                      |
| 第一章 生産の再開と鉄鋼業再建の指針  | 第一章 朝鮮動乱の勃発と鉄鋼業                  |
| 第二章 賠償問題の変遷         | 第二章 鉄鋼業第一次合理化計画                  |
| 第三章 鉄鋼生産回復の足取り      | 第三章 第一次継続合理化計画                   |
| 第四章 経済諸制度の变革        | 第四章 第一次合理化計画 (一次継続を含む) を推進した税制措置 |
| 第五章 高炉調査団・平炉調査団の派遣  | 第五章 外国技術の導入と設備機械の輸入              |
| 第二部 鉄鋼業の自立化の努力      | 第六章 第一次合理化計画 (一次継続を含む) の実施による効果  |
| 第一章 ドッジ・ラインと鉄鋼業     | 終章                               |
| 第二章 鉄鋼業の自立化方策       |                                  |
| 第三章 米国鉄鋼技術者の指導      |                                  |
| 第四章 訪米鉄鋼業調査団の派遣     |                                  |
| 第五章 産・官・学の共同研究体制の確立 |                                  |

<連絡先> (社)日本鉄鋼協会 図書・資料室 渡辺  
〒100 東京都千代田区大手町 2-7-1 日本ビル別館 10 F  
TEL (03)3241-1228 FAX (03)3241-3941